

みんなの財政白書あかし 2024

～マンガとコラムでよくわかるお財布事情～

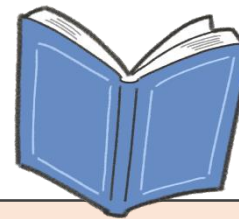
< 資料編 >

～INDEX～

1. 財政の基礎知識
2. 決算の状況
3. 特別会計・企業会計
4. 財務分析
5. 財務書類
6. 今後の財政収支見込み

本編では説明しきれない部分まで詳細にまとめた資料編です。
本編とあわせて読んでいただくことで、さらに財政についての理解が深まります。

財 政 白 書 について



策定の目的・ 位置付け

- ・今後、少子高齢化による社会保障関連経費の増加や老朽化した公共施設の整備費などに多額の負担が見込まれるなか、持続可能な財政運営を進めていくため、財政状況や財政運営上の課題を
見える化し、市民の皆さまと情報を共有しようとするものです。
- ・財政健全化推進計画（H26～R5）の後継として、10年後の目標や取組方針などを盛り込んだ今後の財政運営指針となります。
- ・決算の状況や社会経済情勢の変化、施策・公共施設に関する方針の決定や見直しなどを踏まえて、毎年度更新していきます。

計画同士の 関連性

あかしSDG s推進計画（明石市第6次長期総合計画）

市の最上位計画

- ☆目指すまちの姿：SDG s未来安心都市・明石 ～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～
- ☆まちづくりの方向性：経済・社会・環境（三側面の統合的なまちづくり）
- ☆行政運営の基本姿勢：更なる権限と責任に基づく持続可能で自立した行政

あかしSDG s前期・後期戦略計画

優先的に取り組む施策、各分野の主な施策
効率的・効果的な行政運営：持続可能で自立した行政経営

個別計画（各分野の展開を定める計画）

（仮称）みんなでつくる財政白書
財政状況や課題、持続可能な財政運営の目標や取組方針など

～ 資料編 目次 ～

I 財政の基礎知識 7

1 財政とは	8
2 予算・決算	9
3 予算の流れ	12
4 会計と予算規模	13
5 決算の流れ	14
6 決算における「黒字」と「赤字」	15
7 3つの収支の状況	18

2 決算の状況 19

(1) 決算規模 19

(2) 歳入の状況 23

1 歳入	24
2 市税	43
3 地方交付税	55

4 譲与税・交付金	62
5 負担金・使用料等	66
6 国県支出金	69
7 寄附金	70
8 繰入金	72
9 市債	74
10 歳入のまとめ	76

(3) 歳出の状況（性質別経費） 78

1 歳出の分類（性質別）	79
2 義務的経費	86
3 人件費	89
4 扶助費	95
5 公債費	99
6 投資的経費	102
7 物件費	107

8	維持補修費	110
9	補助費等	112
10	積立金	114
11	投資及び出資金	115
12	貸付金	116
13	繰出金	117
14	性質別経費のまとめ	120

(4) 歳出の状況（目的別経費）

122

1	歳出の分類（目的別）	123
2	総務費	124
3	民生費	134
4	衛生費	147
5	農林水産業費	151
6	商工費	155
7	土木費	159
8	消防費	164
9	教育費	168
10	目的別経費のまとめ	173

(4) 事業の財源

175

3 特別会計・企業会計

182

(1) 特別会計

182

1	葬祭事業	183
2	国民健康保険事業	184
3	財産区	185
4	公共用地取得事業	186
5	石ヶ谷墓園整備事業	187
6	地方卸売市場事業	188
7	介護保険事業	189
8	土地区画整理事業清算金	190
9	後期高齢者医療事業	191
10	病院事業債管理	192
11	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	193

(2) 企業会計

194

1	水道事業会計	195
2	下水道事業会計	199

4 財務分析 202

(1) 基金と市債 202

- 1 基金 203
- 2 市債 208

(2) 財政指標 213

- 1 財政力指数 214
- 2 経常収支比率 217
- 3 健全化判断比率 220
- 4 (連結) 実質赤字比率 221
- 5 実質公債費比率 222
- 6 将来負担比率 225
- 7 実質公債費比率・将来負担比率 (他市比較) 228

5 財務書類 229

(1) 財務書類の概要 229

- 1 財務書類 230
- 2 自治体会計への地方公会計による補完 234
- 3 自治体会計が現金主義である理由 236

(2) 明石市の財務書類 (一般会計等) 237

- 1 貸借対照表 238
- 2 行政コスト及び純資産変動計算書 241
- 3 資金収支計算書 244

(3) 財務書類の分析 246

- 1 指標による分析 247
- 2 資産額 248
- 3 資産老朽化比率 250
- 4 純資産比率 252
- 5 負債額 254
- 6 行政コスト 256
- 7 行政コスト対税收等比率 258
- 8 受益者負担の割合 260

(4) 公共施設の配置 262

- 1 公共施設とは 263
- 2 計画の目標と実績 265
- 3 施設総量 268
- 4 公共施設の現状と抱える課題 269

5	施設の老朽化と将来負担のバランス . . .	273
6	公共施設にかかる費用	276
7	公共施設のこれから	279

6 今後の財政収支見込み 282

(1) これまでの取組 282

1	財政健全化推進計画の取組と結果	283
2	財政健全化推進計画における収支見込み .	286
3	財政健全化推進計画期間における実際の収支	287
4	基金残高見込みと実績	288

(2) 今後の人口推計 289

1	これまでの人口の推移	290
2	人口推計の方法	291
3	過去の人口動態の推移	293
4	年齢区分別人口の推計	294
5	市と国の人口推計の差	297

(3) 今後の財政推計 298

1	現状と今後の収支見込みの策定目的 . . .	299
2	対象範囲と計画期間	300
3	今後の収支見込みの前提条件	301
4	市の人口推計に基づく今後の収支見込み .	304
5	国の人口推計に基づく今後の収支見込み .	305
6	2つの人口推計に基づく収支見込みの基金 残高の差	306
7	今後の収支見込みと財政運営上の課題 . .	307

(4) 今後の財政運営の目標と取組方針 . . . 308

1	目標と期間	309
2	財政運営の取組方針と主な取組	310
3	フォローアップ	314





1. 財政の基礎知識

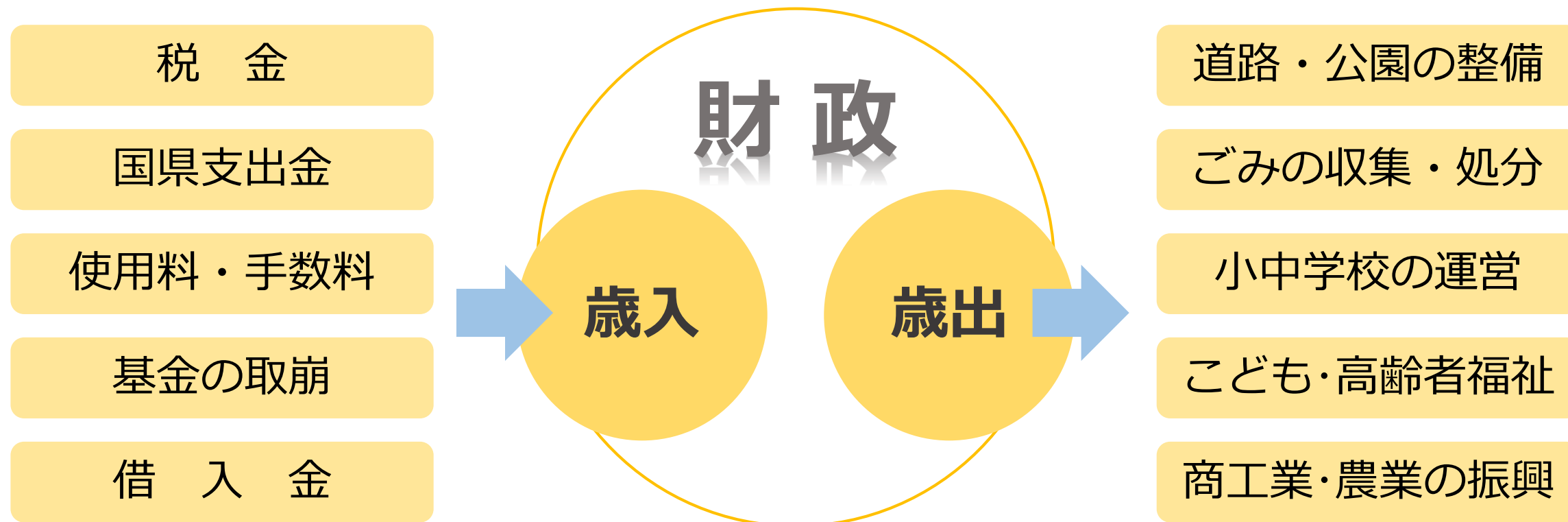
市の予算がどのように決められ、執行し、決算を迎えるのか、さらに決算の「黒字」と「赤字」についてどのように考えているのかなど、財政の基礎について見ていきます。

1 財政とは

1. 財政の基礎知識

市は、市税などの歳入をもとに、様々な行政サービスを行っています。

- ・ 1年間の収入を「歳入」、1年間の支出を「歳出」といいます。
- ・ この歳入・歳出を管理し、1年間の収支の実績を確認します。
- ・ これら一連の活動を「財政」と呼びます。



予 算

1年間の収入を見積もって、使いみちを決めること

執 行

実際に集められたお金を使って仕事をする事

決 算

予定どおりにお金が集まり、使われたか確認すること

予算 とは

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うかを計画し、その費用を見積もります。

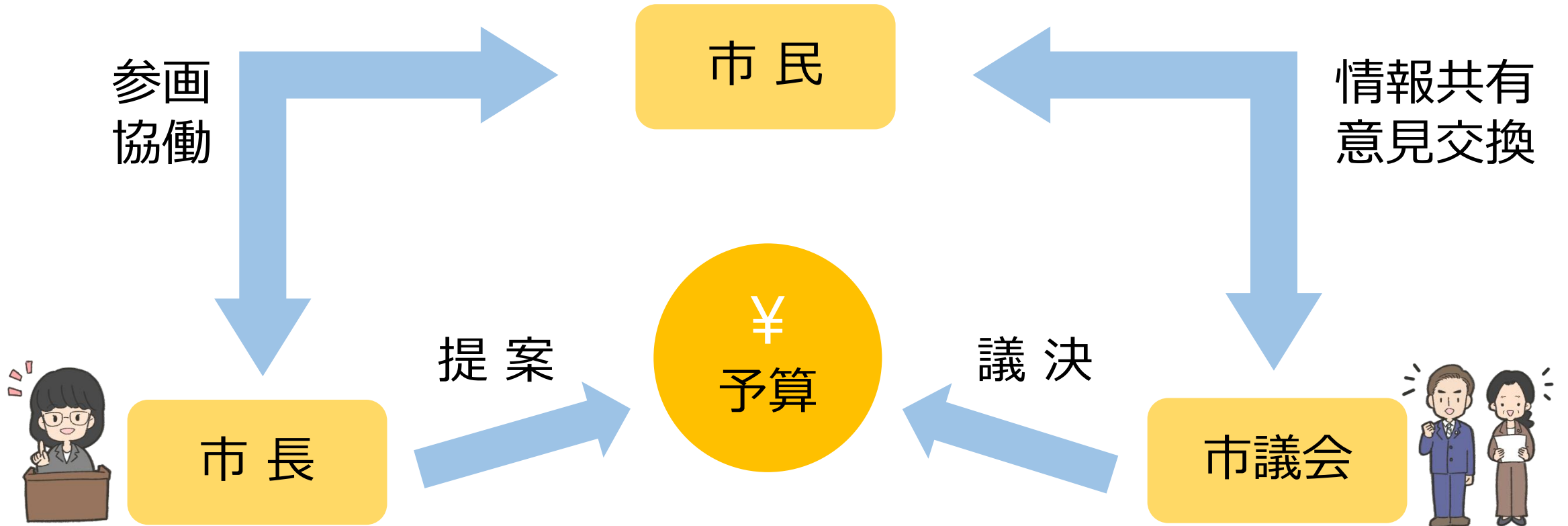
決算 とは

1年間（4月から翌年3月まで）で、実際の収入（入ったお金）と実際の支出（使ったお金）をまとめたものです。

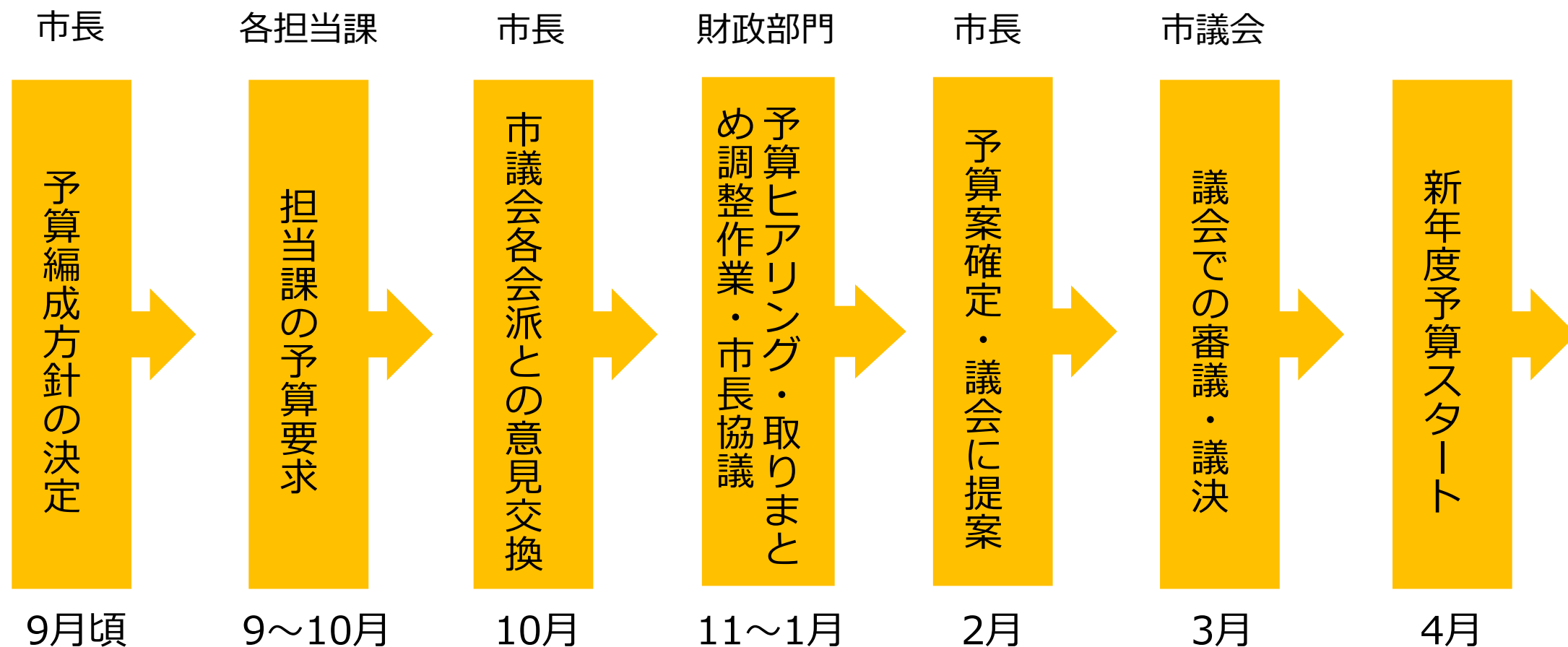
2-3 予算・決算 ③

1. 財政の基礎知識

市長は1年間の行政サービスを検討して、予算案としてまとめて市議会に提案します。
市議会は提案された予算案をいろいろな面から審議して、議決により予算を決めます。



予算編成のスケジュール



市の会計には、一般会計のほか、11の特別会計、2の企業会計を設けています。

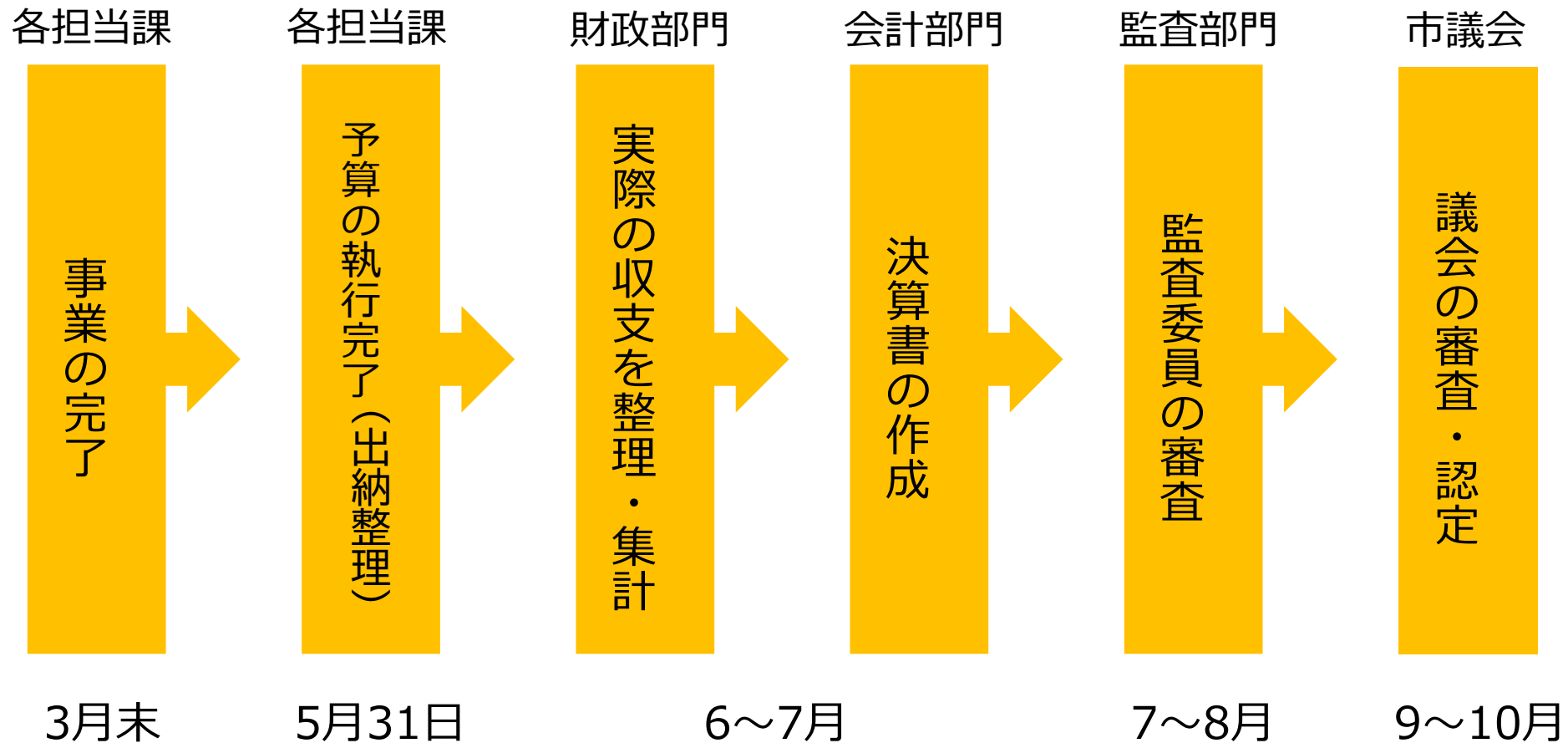
市の一番大きな会計で、市民のみなさんに関わる行政の基本的な仕事を行う「一般会計」を中心に財政状況を把握していきます。

会計	内容
一般会計 令和6年度予算額 1,263億円	福祉、子育て、医療、教育、防災、ごみ処理、道路や公園などの施設整備など基本的な行政サービスを行う会計
特別会計 699億円	特定の目的のための会計 (国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業など)
企業会計 262億円	自治体が民間企業に近い方針で運営する会計 (水道事業・下水道事業)

5 決算の流れ

1. 財政の基礎知識

各年度の実際の収入と支出を整理する期間を出納整理期間といいます。
決算書は監査委員の審査を経て、議会の審査・認定を受けます。



6-1 決算における「黒字」と「赤字」

歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いた額を「形式収支」といいます。
形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額を「実質収支」といいます。
さらに前年度の実質収支や基金によるやりくりを除いた額を「実質単年度収支」といいます。

A	歳入総額	
B	歳出総額	
C	歳入歳出差引（形式収支）	(A－B)
D	翌年度に繰り越すべき財源	
E	実質収支	(C－D)
F	単年度収支	(E－前年度のE)
G	積立金（財政基金）	
H	繰上償還金	
I	積立金取崩し額（財政基金）	
J	実質単年度収支	(F+G+H-I)

Q. 自治体の「黒字」・「赤字」はどのように判断するの？

形式収支

決算で、歳入から歳出を単純に差し引いた額です。

実質収支

形式収支から翌年度に繰り越す財源を控除したものです。
よく新聞で「明石市40年連続黒字」といわれるものです。
しかし、この数字は、市の貯金を取り崩すなど、黒字となるように調整された数値です。

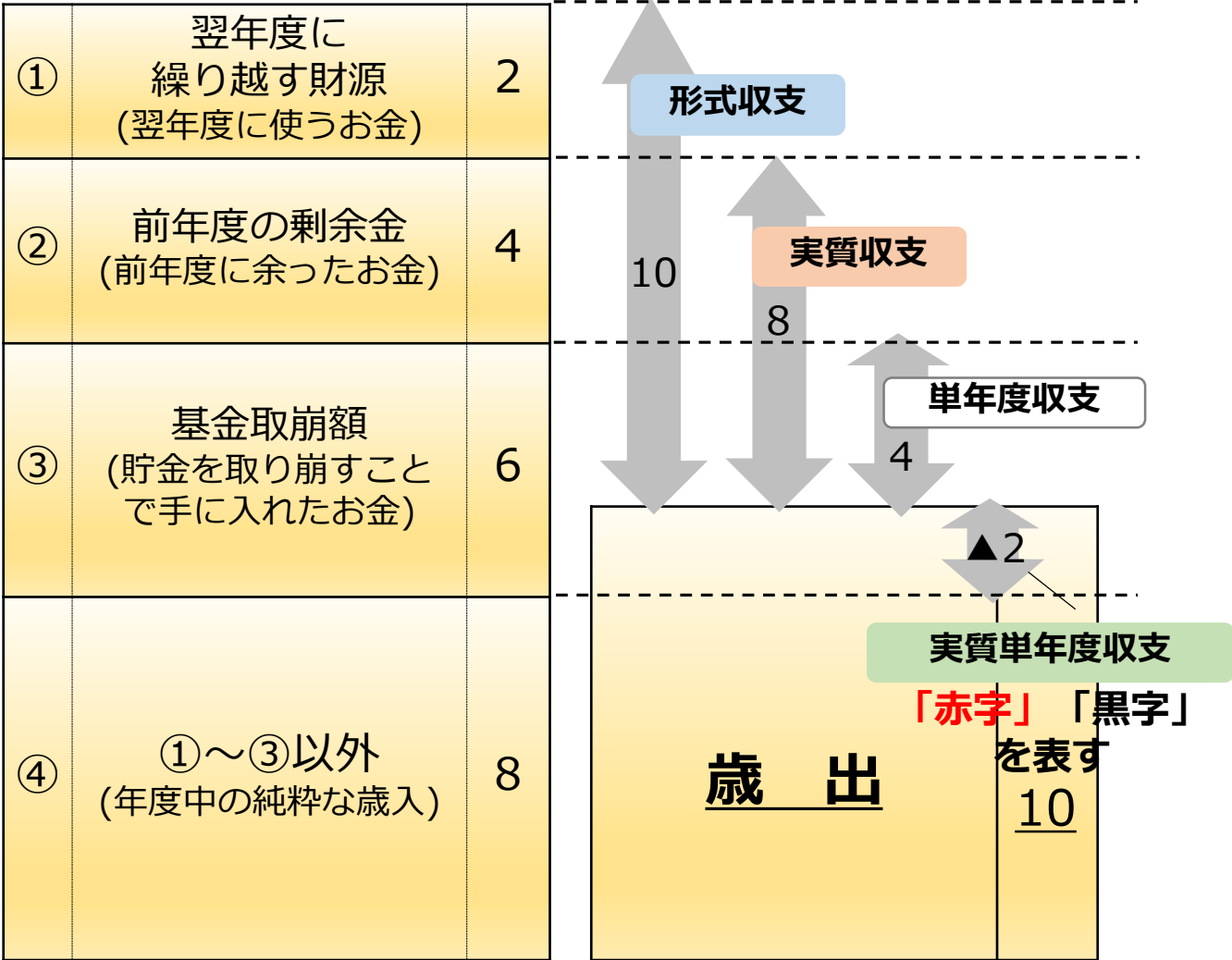
実質単年度収支

最終の「黒字」「赤字」を表すものです。
貯金をしたり、取り崩したりするものなどを考慮したもので、実質的にその年度のみの収支を表した数値です。



6-3 決算における「黒字」と「赤字」③

歳入 20



各収支の説明

名称	計算方法	説明
形式収支【A】	歳入－歳出	歳入から歳出を差し引いた金額
実質収支【B】	【A】－①	年度内に終わらなかった事業（歳出）の財源は、翌年度に使うものとして差し引く
単年度収支【C】	【B】－②	前年度に余ったお金(②)を差し引き、今年度だけの収支とする
実質単年度収支	【C】－③	実質的な単年度の収支を把握するため、前年度までに積み立てた基金の取り崩しによる歳入を差し引く。 ⇔基金への積立は加算する。

7 3つの収支の状況

1. 財政の基礎知識

H20からの3つの収支（形式収支・実質収支・実質単年度収支）の推移です。
R4は実質単年度収支が3年ぶりの赤字でしたが、R5はわずかにプラスとなっています。

